

## 平成23年度第1回小牧市立図書館選書委員会会議録

1 開催日時 平成23年6月24日（金）  
午後3時～午後5時

2 開催場所 小牧市立図書館 1階 集会室

3 出席者 委員長 多田 昭子  
副委員長 大間知 千鶴子  
委員 中川 裕子  
〃 森 勝昭  
欠席者 委員 木村 芳博  
百瀬 正昭

事務局 山田館長  
永井補佐  
佐藤係長  
林主査

4 議題 (1) 委員長・副委員長選出について  
委員長 : 多田 昭子  
副委員長 : 大間知 千鶴子  
(2) 選書について  
(3) その他について

5 会議資料 選書資料

6 議事内容

(1) 選書について

選書資料1 『高木仁三郎著作集 全12巻』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料2 『東アジア海域叢書 全20巻』について

【事務局】 不可が2、保留が2ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 保留にしたが不可でもよい。可の人がいなければ購入する意味もない。

【委員】 専門的すぎる。

【委員】 利用価値もないと思うし、値段が高い。東アジアという検索では類書がた

くさんあるが、必要かというところでもない。20巻もあるし保留から不可へ移動します。

【事務局】 不可が3、保留が1になりますので購入不可とします。

選書資料3 『近世在方集住大工の研究』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料4 『パルテノン・フリーズ』について

【事務局】 可が1、保留が3ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 可の人の意見が聞きたい。

【委員】 パンフレットが1枚きりなので、内容があまりわからない。私も、フリーズの意味は、パソコン位しか思いつかないが、資料から察して「浮彫り」のことかと思う。だとすれば、2008年に「建物」を所蔵しているので、「浮彫り」もあってもいいと思った。両方で一対になっていると思う。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料5 『法隆寺金堂壁画』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料6 『古代文字字典全集 全6巻』について

【事務局】 可が2、不可が1、保留が1ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 迷って保留にした。所蔵されているのは、1995年なので15年以上も前ですけど、そんなに閲覧されていないかと思って。全6巻で5万円位。すごい高いわけではないが、興味ある人は少ないのではないか。内容が専門的・学術的すぎる。

【委員】 可にした。1995年のものが一つあるが、古いので購入してもいい。古代文字というのは、形から来ている。絵みたいな感じであっていい。新しいものがないので、購入してもいい。

【委員】 そういう意味では、購入してもいいが。

【委員】 内容が、変わるか変わらないかその辺がむづかしい。

【委員】 あまり利用価値がない気もする。

【委員】 本当に専門的。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料7 『元禄時代俳人大観 全3巻』について

【事務局】 購入可多数で購入とします。

選書資料8 『建築設備ハンドブック』について

【事務局】 不可が1 保留が3 ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 最初は可にしたが、やはり専門的な本で利用されないかもしれないので保留にした。類書が結構あるが古いものなので、情報としては新しいもので無いといけないかもしれないが。

【委員】 保留にしたが、新しい物がいいということならば可でもいい。

【委員】 そういう観点からいえば、迷う。

【委員】 公立図書館には、いらぬ。たとえば、工業高校の学校図書館とか大学の工学部の建築学科にいらぬならいい。

【委員】 ものすごく専門的という事でもない。

【委員】 ○○ハンドブックというのは、たいてい現場の実務の人が携帯する性質のもの。専門的なものは、専門の図書館へ行くだろうし、ここまで一般市民が要求するという事は少ないと思う。

【委員】 設備という名前が付くと資料としては、やはり新しい物がない。

【委員】 2008年に所蔵している本は、建築の本。これはライフラインのことが書いてある。上下水道とかガスとか内容としては一般的なことが書いてある。専門的ではなさそうな気がする。

【委員】 購入すべきという人が一人もいないのなら、あえて、購入するという決定もおかしい。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料9 『新編色彩科学ハンドブック』について

【事務局】 可が1、不可が1、保留2 ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 可にした。類書は多い。これも前の本と同じでハンドブックという性質のもの。あえて、入れなければならないという事でもない。色彩科学という分野がある。初めて聞いた。

【委員】 類書がたくさんある。

【委員】 色と光とかコーディネーターとかそういう人は多い。調度とか衣服とか、そういうもので色彩が重要視されている。図書館に置いたら見る人があるか。

【委員】 専門的。

【委員】 けっこうむづかしい。

【委員】 専門でやっている人でないと分からないかもしれない。色や照明のコーディネーターの分野が最近発達してきている。この方面へすすむ人、たとえば高校をでて専門学校へ行き、色彩とか光のコーディネーターとかインストラクターの人達は、利用する可能性はあるかもしれない。一般的な市民としては、専門的すぎる。

【委員】 細かくしてあれば手に取るが、すべて網羅してあってどこを見ていいかわからない。

【事務局】 事務局判断とします。

選書資料10 『戦後新聞年表1945年-1995年』について

【事務局】 不可が2、保留が2ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 面白そうだった。全1巻です。

【委員】 こういう統計書はマスコミ中心にしても、図書館になければいけない。小学生や中学生が来て年表を調べる時に調べやすい。個人では買えない。

【委員】 図書館で調べる対象になりやすい。

【委員】 可だが必要だと思う可です。

【委員】 なぜ1995年なのか。何故ここで切ったのか。

【委員】 50年たって一応区切り。戦後は終わってはいないが。全1巻だから続くわけではない。類書がないって言うのが不思議。

【委員】 新聞の記事ではない。年表なんですよ。利用されるということであれば可に変更します。

【委員】 何か調べる時に便利。

【委員】 新聞の中身ではなくて、年表というのがどうなのかと思った。新聞の記事ではないので、利用されるということであれば、可にします。

【事務局】 購入可多数という事で購入します。

選書資料11 『世界文学総合目録 全10巻』について

【委員】 不可が1、保留が3ですので、ご協議をお願いします。

【委員】 翻訳文学の真の全体像を明らかにする総合目録。翻訳目録。第一回がイギリス編。こんなに詳しくはいらない。

【委員】 日本文学でなく世界文学。

【委員】 買った方がいいかもしれないが値段が高い。

【委員】 専門課程の学生が大学で調べるのではないか。

【委員】 もし、具体的にこういうものを置いた場合、何を目当てにきて何を利用するのか。

【委員】 目録だけだったら、インターネットで調べられる。

【委員】 作家の名前と作品が思いつかないという事ならば、図書館にあるものは図書館で検索すればわかる。

【委員】 これは、大学の図書館で調べる内容。

【委員】 10満点の作品が入れてあると書いてある。

【委員】 25万で高すぎる。他のものを買った方がよい。

【事務局】 事務局判断とします。

【委員】 今日には迷うものが多かった。